

「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【浦和区】

〈開催概要〉

日 時：令和3年11月8日（月） 18：30～20：00

会 場：浦和コミュニティセンター 9階 第15集会室

参加者：15名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事務局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

参加者との意見交換

●参加者

〈発言1〉

まず、市役所のイメージはどのようなものですかということに関しては、今日の議論が10年後の世界を思い描いている議論であると思っています。ひょっとしたら、私は生きていないかもしれません。

十年一昔とよく言われていましたが、今までの10年の変わりようとこれからの10年は、倍以上の変わりようではないかと思えます。移転については場所等も含めて、平成12年9月、さいたま市の合併時にはほぼ決まっていたと私は認識しています。そして、合併時に新庁舎をどこにするかということで、かなり紛糾しましたが、合併後速やかに検討に入るという話でまとまったと聞いています。それからもう既に20年たっています。さらにまた供用開始まで10年かかります。なぜそんなに時間がかかるのでしょうか。合併に市民が納得しているのだから、どんどん進めてよいのではないのでしょうか。市長に頑張れと応援したいです。

あと1つ、是非合併したさいたま市のシンボルをつくってほしいです。

〈発言2〉

新庁舎の整備で、まずやっていただきたいことは、周りで見比べて、一番高い建物にすることです。とにかく埼玉県、さいたま市の中で一番高い建物にしてほしいです。今、新都心に幾つか高層の建物があって、二十数階あると思うのですが、それらより少し高くしておけば、10年、20年、30年たっても、さいたま市のランドマークであり続けるビルとなるでしょう。庁舎の中についてはこれからいろいろ検討されて必要なものが入ってくるでしょうが、そういうものが必要だと思えます。

そして、最上階は展望台のようなものをつくってほしいです。さらに、食堂のようなものをつくってもらって、市民がそこに行けば、富士山や筑波山、それから日光、みんな山がすごくきれいに見えるはず。そういうランドマークを是非新庁舎の機能として加えていただければというのが私の意見です。

〈発言3〉

私は、市役所の移転の問題、整備等の必要性等、平成12年度から今までの経緯を全然

知りませんでした。今回参加するために、周りの同年代のお友達にいろいろ聞いてみましたが、全員無関心なのです。反対する人よりも無関心の人が多いというのが一番駄目だと思うのです。だからもう少し市のほうからみんなにアピールしないと、この市役所移転問題はなかなか解決しないと思います。市議会の広報を見ると、移転に反対という人もいて、何で決まっているのに今頃反対するのかなといつも疑問に思っていたのですが、今日来てそれが大体わかりました。

だから、市長はもっとリーダーシップを持って、決まったことは進めないといけません。昔の10年は今の1年なのです。私はもう年でどうなるかわからないので、いい市役所を見に、そこへ行きたいと思います。

私は今SDGsに一番、興味、関心がありまして、SDGsを満たすような建物にしてほしいです。それで私たちの次の世代に負担をかけないように、実用性があってシンプルで、それで誰でも市の職員と同じ目線で一緒にやっていける、そういう市役所にしてほしいです。私は今の区役所はとても好きです。入っても奥まで見渡せません。だから実用性に富んだ華美でない、お金をかけない建物を私は主婦として提案したいと思います。

<発言4>

お話を伺っている中で、1つ自分の中でしっかりこないことがあります。それは、今並行して動いているまちづくりの全体像が全く見えないということです。ばらばらに、端々のことしか聞こえなくて、このさいたま市がどういうブランドになっていくのか、全員が例えば赤いまちなのかとか黒いまちなのか白いまちなのか、それともフラットな緑のまちなのか、このイメージさえまだない中で、新庁舎や現庁舎地の利用方法を議論したときに、みんなは、ある人たちは赤いイメージで話をする、ある人たちは緑のイメージで話をするというのがさいたま市の一番難しい問題なのかなと思っています。

見沼区では今問題になっている休耕地が多くあり、また、浦和区は歴史があるまちで、大宮は商業のまちだというように、さいたま市は10区の特徴それぞれが全然違うのですね。その中でまとまった新庁舎というのをつくるときに、まずはさいたま市のブランディングをきっちり市長が決めていただいて、140万人の市民が納得してこの色だと決めたと決まってくものかなと私は考えました。

ですので、細かい機能は20年後30年後、未来に向けてつければいいのですが、20年後30年後のカラーというのは、市民全員がこの色というのを無数の色の中から決めていくという作業を並行して行う必要があります、まずはそれが決まらないと先に進めないような気がすると思っていますので、色を決めていくことに注力してほしいなと思います。

<発言5>

新庁舎の周辺整備ということで、話をさせていただきます。移転するからには、さいたま市内外の人たちに親しまれる、愛されるといった形での移転にさせていただけたらと思っています。

そこで考えたのですが、1つは、今さいたま市内で夏にやっている花火大会についてです。旧浦和、旧大宮、旧岩槻の3地区でやっているのですが、3か所で開催すると当然費用もかかりますし、限られた予算の中でやっていくので、花火大会のスケールも少し小さくなっているのかなと思っています。

そうした場合、新庁舎移転に当たって、新庁舎の周りの環境を考えた場合、新庁舎の裏側には大きなグラウンドがあり、芝川の土手もあるので、駅から少し距離があるのですが、そこで3つに分かれていた花火大会を1か所でやれば、スケールも大きな花火大会になると思います。そうすれば、人もたくさん集まってくるし、花火大会のときに新庁舎のスペースを開放すれば、親しみを感じてくれるのではないかなと思っています。

あと2点あるのですが、一つは、今のさいたま新都心駅には湘南新宿ラインが停まらないので、これを停まるようにすれば魅力が出てくるということです。またあともう一つは、

今げやきひろばで夏にいろいろな行事をやっていますが、それと連携していけば、かなりさいたま新都心に人が集まってくるということです。げやき広場ビール祭りなどとタイアップすれば、もっと人が集まって魅力的な都市になっていくのではないかなと思います。

<発言6>

浦和区役所の移転はしないのでしょうか。私は、市役所ではなく、むしろ区役所が移転した方がよいのではないかと考えています。

それから、私は大宮に生まれ育っております。大宮には武蔵一宮氷川神社がありますので、あまり二十何階建ての建物は建てていただきたくないと考えています。

<発言7>

現庁舎地の利活用の考え方として、文化芸術機能というところでお話ししたいと思えます。

テーマ説明資料でも、例としてコンサートホールをつくるということが書いてあります。きっと、オペラやバレエのコンサートなどいろいろなことができると思います。そこで提案なのですが、もしホールをつくる際には、ヨーロッパの舞台のように、少し舞台自体がせり上がり、ほんの少し傾斜をつくっていただきたいと思います。傾斜をつくると、見るほうも立体感が出てきますし、踊っていても姿勢よく体全体で踊れる感覚があります。

それから、オペラやバレエ、絵画でもそうですが、昔のヨーロッパでは王様が劇場をつくり、そこに専属の舞踊手や歌手を置いて、その人たちは20年働くと年金をもらえ、それで余生を送る生活の糧が得られていました。今の日本はダンサーや歌手、ピアニストなど、親がかりでやっていて、教職に就いたり、教え子を持ったりしないと独立することができません。そこで、さいたま市で劇場をつくり、芸術家たちを劇場専属の職員にして、文化を発信していくという機会をつくっていただきたいと思います。

<発言8>

テーマについてそれぞれ簡単にお話しします。

まず市役所についてですが、日常は区役所で用が足りるので、市役所は普段は縁遠い場所だということです。それだけに市役所に行く魅力、市民が足を運ぶ、寄り合える機能を持った新庁舎にしていきたいと思います。

次に新庁舎整備については2点意見があります。1点目は、東京都豊島区役所は、区の出費を少なくつくったという話を聞いていますので、このモデルを参考にして、税負担は極力ゼロに抑えるような考え方をしてほしいなと思います。

それから、2つ目としては、百年建物として建築設計してほしいということです。建物そのものが百年の耐久性のある建物ということで、これはSDGsにもつながっていくかと思っています。中に入る機能は、公共施設としては市役所、図書館、コミュニティセンターをつかって、市民が集まるようにしていきたいと思います。図書館については、コムナーレの8階に図書館がありますが、蔵書の特徴などで差別化をしていくとよいと思います。それから、屋上にはヘリポートなどを設けるとよいと思います。

最後に現庁舎地の利用についてですが、これも公共複合施設として、豊島区をモデルにして考えてほしいと思います。また、浦和駅から跡地へ向かう途中に商店街などを置き、人流をつくって、〇〇ロード、〇〇通りというものを設けてはどうかと思います。

<発言9>

市役所についてなのですが、市役所は法的な何かをやっている、どこか堅いという印象です。今の市役所は45年たっていて、配管などの経年劣化といった理由もあって移転するのだと思いますが、市役所に来る人はもちろん、働いている人が安心して働ける環境にしてほしいです。不安を抱いたまま働いている人がいると、そこに来る人も不安を抱いて

しまうと思うので、防災面に特に着眼点を置いてほしいなと思います。

<発言10>

私は65年ぐらい前、小学校のときから、この大宮台地の端から荒川までの間が全部水浸しになったところを何度も見えています。今、ほとんどそういうことはないですが、またいつ身近でそんなことが起きるかわからないので、自分のことばかり考えないで、よそで被災した人たちも助けるという考えを持たないと、これからはいけないと思います。

災害が起きた時のために仮設住居を普段から備えておき、自分のことばかり考えないで、他人のことも考えていこうという世の中になっていけばいいかなと思います。

それから、市役所って普段はあまり行かないですし、行っても面白くないです。ですので、私は市役所にピアホールをつくとよいと思います。それによって市も収入を増やしてはどうでしょうか。

◆市長

>>発言1

もう合併から20年たったので、移転はとにかく早く進めるべきだという御意見を頂戴しました。御説明したとおり、合併協定書で移転先は新都心付近が望ましいということで合意がされて、約20年たちました。合併のときに、それぞれの旧市のいろいろな思いもあったと思いますし、またいろいろな違いもあったと思います。20年間一緒にさいたま市の課題を解決しようということで、10区の皆さんがみんなで力を合わせて、この20年間の歴史を積み上げてきました。庁舎の移転についてはゆっくりになってしまいましたが、まさに今がそういったことを進めていくべき機会ではないかと思っています。しっかり進めていきたいと思います。

>>発言2

10年、20年、30年たっても、ランドマークになるような建物にしてほしい、周りの中でも一番高い建物にしてほしいというお話をいただきました。また、最上階には展望台、食堂などつくって、富士山とか筑波山とか周辺の景色が見渡せるようにしてほしいといった御意見をいただきました。

さいたま市は高いビルからですと、富士山が本当によく見えます。周辺にあまり高い建物が建っていないということもあるのかもしれませんが、非常に眺望のいい市だと思います。参考にさせていただきたいと思います。

>>発言3

無関心というのはよくないことだから、移転のことなどについて、もう少ししっかりアピールしてほしい、十分に知っていただくように取り組んでほしいという御意見をいただきました。私たちもできるだけ多くの皆さんに知っていただけるように、最後まで努力をしていきたいと思います。

それから、昔の10年は今の1年とは、本当におっしゃるとおりだと思います。特に技術の変化、進展はすごい勢いで進んでいます。合意形成などについては丁寧に進めていく必要がありますが、そういった中でも、きちっとタイミングとかスピードというのは意識していきたいと思います。

それから、SDGsに配慮したものにしてほしいと御提案いただきました。私たちもSDGsの17のゴールを意識した形で庁舎の整備を進めていくことが必要だと思います。さいたま市はおかげさまで日本経済新聞の「全国市区・SDGs先進度調査」では全国第1位となりました。そういうことをシンボルにし、しっかりアピールしていきたいと思います。

>>発言4

さいたま市全体のイメージが見えないのではないかと、そこをしっかりと築き上げて、さいたま市のブランディングをして、その中でその10区のそれぞれの特徴を生かしたまちづくりをしていったらよいのではないかと御意見をいただきました。まさにそのとおりだと思います。

さいたま市はちょうど今年20周年を迎えまして、「2030さいたま輝く未来と希望（ゆめ）のまちプラン」という題名の新しい総合振興計画がスタートしました。東日本の中枢都市をつくろうということと、上質な生活都市をつくろうという2つの大きな目標で進めており、多くの政策がSDGsの17のゴールに紐づけされています。

さいたま市の強みは5つぐらいあると思っています。交通の要衝であり、交通の利便性が非常に高い都市だということ。比較的災害に強いという都市だということ。また、そういった特徴を生かしながら、旧市の時代からも含めて、市民の皆さん、過去の首長、そして職員が頑張ってきてくれて、環境、教育、健康・スポーツの分野は他の都市と比較をしても、非常に進んできていると私自身はと思っています。そういった特色を生かしながら、さいたま市の魅力を発信していきたいと思っています。また、東日本の中枢都市ということと上質な生活都市と掛け合わせるような形で、さいたま市の強みを生かしていきたいと思っています。

ただ、これは皆さんで思いを共有していくということがすごく重要で、それぞれが赤だったり緑だったり、青だったりということではなくて、みんなが同じ方向性を向けるようにしていきたいと思っていますし、先ほど広報のお話も出ましたが、引き続きしっかり私たちもお知らせもしていきたいと思っています。

ちなみに、政令指定都市の幸福度ランキングでも、さいたま市はナンバー1になっています。

>> 発言5

新庁舎の周辺整備ということで、さいたま市内外の皆さんから愛される場所になってほしいという御意見を頂戴しました。また、具体的な例として、今3つに分かれている花火大会を1つにして、新庁舎の近くの土地を利用して開催をしてはどうかと、また市民に庁舎を開放して、庁舎からも花火がよく見られるような形にしてはどうかという御提案をいただきました。非常に参考になる御意見だと思います。

また、さいたま新都心駅への湘南新宿ラインの停車については、新都心も非常に人口が増えてきましたので、これからJRに要望していくことを検討していかなくてはならないと思っていますし、大宮と新都心と浦和、この3つがうまく連携してそのよさを発揮できると、より一層さいたま市の魅力が発信できるのではないかと考えています。

>> 発言6

新庁舎について、高さはあまり高くない方がいいのではないかとのお話がありました。民間の施設と複合化をすることも考えているものですから、少し目立つような施設になっていますが、今後また市民の皆さんの意見も聞きながら、しっかり検討していきたいと思っています。

>> 発言7

文化芸術機能を高めてほしいということで、具体的に劇場のお話などもいただきました。浦和地域は、文化芸術に携わっている方も多くいらっしゃいますし、そういったことに従事している方がたくさん住んでいらっしゃると思います。またさいたま市全体としても、文化芸術はさいたま市を彩る大きなテーマだと思っています。そういったことも踏まえながら、隈研吾さんにも参画をいただいて、浦和らしいまちづくりを考えていますので、その中でも、現庁舎の跡地活用についてしっかり進めていきたいと思っています。

>> 発言 8

大抵のことは区役所で済むのですが、本庁舎にも市民が来てもらえるような機能を持った市役所にしてほしいというお話と、豊島区役所をモデルにしてはどうかという御提案をいただきました。私も一昨年、豊島区役所を見てきました。豊島区役所は下に商業施設が入り、上がマンションという非常に面白い複合化された区役所で、外観は緑がたくさんあるという、斬新なモデルでした。非常に少ない予算でつくったという施設だと思います。

私たちもそういった豊島区役所など成功したモデルを参考に、民間の活力を使いながら、できるだけコストを少なくして整備をしたいと思います。

それから、百年たっても残るような建物にしてほしいといったお話や、図書館なども入れてほしいといった御提案をいただきました。参考にさせていただきたいと思います。

>> 発言 9

市役所はどうしても堅い印象だということと、働いている人が安心できる市役所にする必要があるのではないかと言っていました。大変重要な視点だと思います。働いている職員や来ていただいた市民の皆さんが安全に過ごすことができる市役所というのが、結果的には効率的であったり、仕事をする上でも生産性の高い市役所になっていくのだと思います。そういった視点を大切にしたいと思います。

>> 発言 10

これからはよその人たちも助けるという発想が必要ではないかという御意見を頂戴しました。

さいたま新都心エリアは広域防災拠点、首都直下地震が起こった際の、首都機能のバックアップ拠点という位置づけをいただいています。それは先ほどお話ししました大宮台地があって、地盤がしっかりしているということや、比較的自然災害が少ないということもあり、国土交通省のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の進出拠点にも指定をいただいています。さいたま市の市民の安全・安心だけでなく、そういった大きな地震が起こった際のバックアップができるような機能を持った拠点にならなくてはいけないという中で、新都心での新しい市役所ということを考えています。

それから、市としてもピアホールなど、歳入を増やすということも考えていく必要があるのではないかというお話もいただきました。そういった視点も含めて、民間の活力も使いながら、できるだけ税金を使わないで整備をしていきたいと思っています。

●参加者

< 発言 11 >

まず、市役所のイメージについてなのですが、先ほどの方も言っていたとおり、市役所や区役所は堅いイメージがあります。私の場合、マイナンバーカードをつくるのか、何か理由がないと行かない施設であって、行く機会は本当に少なく、どうしても親しみやすさというものが感じられないからです。ですので、今回移転するに当たって、もう少し市民が身近に感じられるような市役所になったらいいなと思っています。例えば、最近、公園で球技ができないとか、子どもが外で遊ぶ場所が少なくなっていると思うので、市役所のすぐ近くに人工芝の広い公園を併設して、さいたま市はサッカーなどスポーツが有名なところなので、スポーツに子どもがいそしめるような施設があったらいいなと思います。

そういった場所があれば、市民も身近に感じられるのかなと思います。そこでスポーツをする以外にもフリーマーケットであったりバザーであったり、家族で行けるようなイベントなどもあったらうれしいなと思います。

住みやすさに関連してなのですが、市役所が移転して、新しい庁舎の規模を大きくして、さいたま市のランドマークとなるような施設をつくるのもよいと思うのですが、どうしても維持費もかかってしまうので、ほかの福祉だとかそういったことにもお金をかけてほし

いなと思います。

<発言12>

まず、市役所のイメージについてなのですが、市役所については、私もほとんど無縁なので、悪く言ってしまうと、どうしてもいいみたいなどころがあるのですが、経年劣化で新しく建てる考えには賛成ではあるので、建てるのであれば、誇りを持てるような建物にしてもらいたいなと思っています。

メディアでも、大宮対浦和というように、どうしても対立関係になってしまったり、幸福度ランキング第1位とおっしゃっていましたが、サービスはすごく充実していても、住んでいる人がそのまちの当事者としてよくしていきたいと思っているかというのは、別の問題だと思っているので、人と都市をつなぐコミュニケーションができる場として集える場所をつくっていただきたいなと思います。

また、私は都内の大学に通っていて、日中は都内で過ごして、夜はさいたまに戻ってくるといった、ベッドタウンのように過ごしているので、夜さいたまに戻ってきてから集える場所として、夜でもにぎやかで、一回帰ってきてからも、またさいたまで過ごす時間が豊かになるような、そういった施設があったらいいなと思っています。私が留学していたときに、人の集まる場所で映画が上映されるといった活動があったので、そういった憩いの場になれるようなオープンスペースがあったら私はすごくうれしいです。

最後に、祖母が免許を返納したのですが、交通手段がないというのが大きな問題だと感じているので、移転した後もシャトルバスの運行や道路の整備を進めるなど、多くの人が行きやすい場所にしていただきたいと思います。

<発言13>

私は旧大宮市に生まれて、現在、旧浦和市に住んでおりまして、ほぼ半分ずつ大宮と浦和に住んでいた人間になります。今回の新庁舎ですが、ちょうど大宮と浦和の中間地点にあり、かつ駅からも近く利便性が高くて、非常に立地はいいと思っています。

それから、利便性を上げるためには、例えば、DXを活用してほかの公的機関である税務署や法務局、ハローワークなどがワンストップで利用できるような庁舎というのがあっていいのかなと思います。あと、近隣に大宮警察がありますので、先ほどお話ありましたような全国の模範となるような地域防災センターを是非つくっていただきたいと思います。

それから、現庁舎の利活用のお話になりますが、これはさいたま市に限った話ではないのですが、少子高齢化が大きな問題となるかと思っていますので、医療や健康に関連する施設が必要なのではないかと思っています。特に埼玉県につきましても、全国47都道府県の中で10万人当たりの医師の数が最下位という現状に鑑みて、是非医療の強化をお願いしたいと思っています。

埼玉県に医師が少ないことはいろいろな理由があるかと思うのですが、1つには有力な大学病院がないということではないかと考えます。特に公立の病院があまりないと思うので、埼玉大学の医学部でも結構ですし、さいたま市立大学の医学部でも結構ですので、そういった先進医学とスポーツ・健康科学、この両面を備えた、市民に開かれた大学病院をつくっていただきたいと思っています。

<発言14>

新庁舎に関して一番お伝えしたいのが、アクセシビリティについてです。建物や情報、サービスにアクセスしやすい、視認性を意識した施設にしてほしいです。

あと、防犯対策は強化してもらいたくて、例えば男子トイレを手前に、女子トイレを奥側につくるとというのが一例です。

また、備品等を調達する際に、ユニバーサルデザインの椅子やバリアフリーのアイテム

を積極的に取り入れて設置していただきたいです。市役所に設置されている設備やアイテムがユニバーサルデザインのものであふれていたら、市民が日常的に目に触れ実際に使用することができ、一般の企業の方や来訪者にもいい影響を与えられると思います。誰にも優しい商品やアイテムがあるということが自然に認識されるのではないかと思います。

少子高齢化が進み、病気やけがをしたらすぐ障害を持ってしまう、超高齢社会になるということを前提とした建物であるということが必要だと思います。段差がない、角がない、倒れてもぶつかってもけがをしにくいといった部分は子どもにも関連すると思っていて、子どもが触ったら危ないというのを注意しなくてもいいような、転んでもけがをしない施設がよいと思います。先ほどお伝えしたとおり、情報のアクセスのしやすさ、情報弱者を1人も出さないような、そんな施設になってほしいと思います。

<発言15>

先日「現庁舎地利活用について考える市民ワークショップ」で現庁舎地の平面図をもらいました。それを見ると大半が駐車場となっています。そういうことはせずに、電気自動車だとさらにスペースが必要になってくると思いますので、駐車場は地下に必要な車両部分だけつくってほしいです。

<発言16>

現庁舎地の利活用についてですが、私は旧浦和市民で、今の市役所には愛着があるのですが、予算には限りがありますので、これを機会に新都心のほうに全部目を向けて、跡地については、埼玉県に土地を貸すとか譲渡するなどしてもよいのではないのでしょうか。県庁にもいろいろ行政機関があって、かなり古い建物がたくさんあります。当然建て替えや再開発をするので、土地を貸したり譲渡したりしたお金で、市役所は新都心のほうにもっと規模を大きくした形で機能を充実させるという方法もあると思います。

現庁舎の跡地には消防署や区役所の機能を残すという話があるのですが、そうした場合は残った敷地で、これまで提案のあった学校や病院、文化施設をつくることになりませんが、非常にスケールの小さな施設になってしまうと思います。

それと、今の市役所がある位置なのですが、最寄り駅は浦和駅だと思うのですが、歩くと15分から20分程かかります。そうすると、非常に交通の利便性が悪いので、そういったところに施設をつくっても、どれだけの利用があるのかわかりません。また、そこに提案のあったような施設をつくっても、交通渋滞の原因にもなりますので、現庁舎については県のほうに利用を委ねて、その得たお金で、新市役所の機能を充実させるというのも一つの方法かなと考えました。

<発言17>

地下の駐車場は私も考えておりました。例えば野外音楽堂をつくるのもいいかなと思ったのですが、現庁舎地は何かをつくるには狭いのです。不便な場所ですし、来られるのは区役所を利用される方だけなので、地下3階ぐらいの簡易な駐車場をつくり、地下1階は区役所に来る人用に、地下2、3階は資料をしまっておいたり、緊急時に備えて、毛布だとかそういった備品を蓄えるために使うのはどうでしょうか。上は一面芝生にし、1歳のよちよち歩きの子どもから小学生以下の子どもだけがはだして歩ける芝生にします。そうすると、お母さん方が子どもたちと一緒に遊びにきて、けがをしない、安全なスペースが確保できます。芝生の維持管理には農薬や化学肥料も使わず、安全で衛生的です。平らな土地ですから、水はけもいいでしょうし、きれいな芝生が育つと思いますので、安心して子どもたちがはだして遊べる、そういう場所が1か所ぐらいあってもいいのではないのでしょうか。

<発言18>

情報弱者を1人も出さない、誰も情報弱者にしないという意識で、市役所の建物や機能を整えてほしいです。外国人にもわかりやすい表現だったり、ピクトグラムを用いるなど、視認性の高い表示にしてほしいと思っています。あと、市役所は相談しやすい雰囲気づくりが大事だと思っています。

それから、現庁舎地の利活用についてなのですが、コロナ禍になって、居場所がありませんでした。外出しても、どこにも行ってはいけない雰囲気、屋外であってもここは座ってはいけないとロープが張られていて、居るところがなかったので、憩いの場所を屋外につくってほしいと思っています。それについては、防災機能を備えた防災公園のようにしていただいて、ベンチの蓋を開けると、かまどの機能があったり、水をどこかで調達できるようになっていたりとか、通常は憩いの場所で、災害が起きた時には、すぐに切り替えられるようなスペースをつくっていただきたいです。

また現庁舎地に水の流れる段床というのがあると思うのですが、子どもが小さかったときにとてもお世話になったので、そちらは残してもらいたいです。もしどうしてもなくしてしまうのであれば、代わりになるような親子の広場のようなものをつくっていただきたいと思っています。

<発言19>

コロナ禍と防災についてお話しします。この会場にこれだけ人がいると、明日私は感染しているかもわかりません。それを一番懸念しています。それから、この会場は9階ですが、もし地震が来たときに防災士がどれだけいるのでしょうか。

◆市長

>>発言11

市役所は非常に堅いイメージで、手続や申請ぐらいでしか行く機会がないので、もう少し親しみやすい場所、身近な場所になってほしいというお話をいただきました。その中で、人工芝の公園だとか広場があって、いろいろなイベントができたり、スポーツができたり、そういったことに活用されるといいのではないかとのお話をいただきました。

規模については、あまり大きくなくて、維持管理費もかからないようにしてほしい、むしろ福祉のほうに回してほしいという御意見を頂戴しました。

ちょうど新都心の移転予定地の目の前には、さいたま新都心公園という名前の芝生公園ができました。そこは、普段ベンチになっていますが、それを取るとかまどとして使えたり、トイレになったりというような防災型の公園となっています。その場所以外にも、そういった防災機能を持った公園を整備して少しずつ増やしており、テントを立てて一時避難場所として活用できるようなところもあります。

>>発言12

市役所についてはあまり相談の機会がないので、誇りを持てるようなものをつくってほしいというお話がありました。そして、コミュニケーションがいろいろ取れる場所をつくってほしいということです。さいたま市では、毎年市民意識調査をしています。さいたま市が「住みやすい」と言っている市民の割合が85%を超えるようになりました。調査を開始したのが平成19年、そのときは74.0%だったのが、毎年1%ぐらいずつですが、少しずつ上がってきました。それを支えているのは何かというと、もちろん交通の利便性などもあるかと思うのですが、自治会の活動であったり、サークルの活動であったり、いろいろ地域のために汗を流してくださる市民の皆さんがすごく多いということです。それはさいたま市のすごく大きな魅力だと思っています。

行政は必ずしも手厚いところまでできていないかもしれませんが、市民の皆様がそうした様々な活動で支えていただいて、「住みやすい」が昨年は86.3%まで行きました。今年は少し落ちて、85.6%という状況になっています。さいたま市としても地域のコミュ

ニティをしっかりと作り上げていくということが、少子高齢化時代の大きなポイントだと思っています。行政だけでは全てはできませんので、住民の皆さん同士、また行政と市民の皆さんとがしっかりとコミュニケーションできるような場であったり、機会をしっかりとくっつけていきたいと思っています。

また、大学生などの若い方々も夜集えるような場所をつくってほしいという御意見も頂戴しました。

あと、交通のアクセスの問題についてもお話しいただきました。現在さいたま市では、いろいろな公共交通の実証実験をしています。高齢になると、車で移動するのが難しくなると思いますので、自動運転バスの実験も、新都心から大宮で行いました。さらに自転車のシェアリングや、スクーター、電気自動車を加えたシェア型マルチモビリティも市内で行っています。そういった移動しやすく、できるだけ安い値段で目的地まで行けるような交通手段を、都市部だけではなく、郊外も含めてつくってきたいと思っています。交通のアクセスの問題はすごく重要な問題だと思いますので、これもしっかりと配慮していきたいと思っています。

>>発言13

市役所については、DXを活用して、ワンストップでいろいろな行政へアクセスができるようにしてはどうかという御意見をいただきました。さいたま市でもデジタル化に取り組んでいて、令和7年度までに原則全ての行政手続は、電子申請ができるような環境をつくるという計画をつくって今進めています。いろいろな申請や手続が、市だけではなく国や県なども含めてできるような環境ができれば、市民の皆さんにとって一番よいと思います。そういったことも、今後検討していきたいと思っています。

それから、地域防災センターのようなものも是非整備をしてほしいという御意見を頂戴しました。

先ほどもお話しした通り、新都心が広域防災拠点となり、国のバックアップ拠点にもなっていますので、防災のシンボルとなる施設にもしていきたいと思っています。

また、跡地については医療、健康という機能を持った施設にしてはどうかという御意見を頂戴しました。重要な視点だと思います。ただし、医師の数は病院と連動していると思うのですが、病院を設置するには病床の確保が必要です。病床は埼玉県が策定する地域保健医療計画において、医療圏ごとに基準病床数が定められており、市の独自の判断で病床及び病院を増やせるものではありません。

東京に通っている方々が多いこともあり、千葉、神奈川、埼玉の病床数が極めて少なくなっています。コロナのこともありましたが、高齢化時代になると、東京に通っている人たちだけではなくて、むしろ地域で過ごす方がたくさん増えてくると思いますので、そういった地域とも連動しながら、引き続き国に対して医師の確保等を要望していきたいと思っています。

>>発言14

情報などのアクセシビリティについて御意見をいただきました。

先ほどお話ししたようにデジタル化を進めているのですが、もう一つ今回、新型コロナで私たちが感じたのは、デジタル化に対応ができない年代層の市民の皆さんも、たくさんいらっしゃるということです。特に、ワクチンの予約など、市民の皆さんに大変御迷惑をかけましたが、私たちとしても、情報にアクセスしやすいように、またそれをしっかりサポートできるような対応を取っていこうと考えていますので、そういったことを十分に新庁舎でも反映させていきたいと思っています。

それから、ユニバーサルデザインの御指摘もいただきました。また、防犯対策ということでもお話をいただきました。特に、転んでもけがをしない、障害者にも子どもたちにも、高齢化時代にも優しい施設にというお話がありました。まさにSDGsのゴールを目指し

た建物のイメージだろうと思います。私たちもそういった庁舎にしていきたいと思います。

>>発言15

駐車場が平面にたくさんあると、スペースとしてもったいないので、地下にして、有効活用してほしいという御意見でした。そういったことも十分考えていきたいと思います。

>>発言16

現庁舎跡地は、県庁の建て替えなどに活用してもらって、さいたま市は新都心に集中したほうがいいのではないかという御意見を頂戴しました。そういった御意見もあろうかと思えます。そういったことなども含めて、検討はしていきたいと思っておりますが、ただ、もう一方で、私たちも県都という部分と文教都市という、この浦和のまちの優位性といえますか、ブランディングは大切にしていきたいという思いもあります。10区の中でも、浦和区は人口が増えている区になりますが、その3割の方が浦和の教育環境がよいという理由で住んでいる皆さんです。ですから、私たちとしては、教育文教都市としてのイメージを大切に、うまく生かしたものが跡地に来ればよいなと考えていますが、御指摘のことなども踏まえながら、今後検討していきたいと思っております。

>>発言17

現庁舎地の利活用については、建物を建てるというよりも、子どもが歩けるような安全な広場をつくったらいのではないかという御意見を頂戴しました。それも大変重要な意見だろうと思います。

>>発言18

情報弱者に配慮したいろいろな表示の仕方や、全体の建物だけではなくて、日本語一つ一つの表示の仕方から配慮してほしいという御意見をいただきました。これまでタウンミーティングでよく言われたのは、何々を相談したいのだが、何課に行ったらいいかわからない、という御意見でしたので、そういったことも含めて、来た方々にとって分かりやすく、目的の場所に行けるようにするというのも、重要な視点だと思います。そういったことも十分に配慮していきたいと思っております。

それから、防災については先ほどもお話ししましたが、新都心に防災公園が既に整備されています。もともと防災を十分意識した場所にしていかなくてはならないということから、そういった公園も整備されています。芝生が張ってあって、本当にきれいな公園ですので、一度見ていただければと思います。

あと、水の流れる段床は思い出に残っている大切な場所だという方がタウンミーティングで他の会場でもいらっしゃいました。そういった皆さんの思いもしっかり受け止めながら、考えていきたいと思っております。

>>発言19

防災、コロナ、危機管理への対応ということで御意見を頂戴しました。

これから30年以内に首都直下地震が起こる確率が70%を超えているという状況ですし、自然災害、今回のコロナ禍、またその後の新しい感染症の問題はずっと続いていくと思っておりますので、そういった危機にどう対応していくのか、市役所がどういう機能を持つていくのかというのはすごく重要な視点だと思います。これからそういったことも踏まえていきたいと思っております。

もう時間が過ぎましたので、これにて終わらせていただきたいと思います。平日の夕方のお疲れの時間帯に、こうして足を運んでいただきまして、ありがとうございました。

また皆さんからのたくさんの思い入れの入った御意見、すばらしい御意見、いろいろ頂戴しましたので、私たちもまたこれを生かしながら、次の段階に入っていきたいと思えます。また、スピード感を持って早く進めてほしいという御意見もありましたので、着実に御理解を深めていきながら、しっかりと前に進めていきたいと思っています。

今日は、本当に長時間にわたりまして、御協力をいただきましてありがとうございました。

●参加者

<発言20>

よろしいでしょうか。

市民意識調査でさいたま市が住みやすいまちだと回答している人が何%と出ていますね。これはどのように調査をしているのでしょうか。私には全くそういう調査が来たことがないので。上の者に対していい結果が出ればいいから、忖度でやっているということを目にしたことがあります。新聞記事にも数字が載っていたので、新聞社に問い合わせたのですが、各自治体の広報から上がってくる数字を載せているだけですよという答えでした。

◇市職員

>>発言20

市民意識調査なのですが、5,000人の方に人口比率に応じまして無作為にお送りをさせていただいています。

●参加者

<発言21>

私みたいにもう80近くなりますと、いろいろな調査から除外されてしまって、参加する機会がないのです。私は昔アナウンサーを希望してまして、半年ぐらい前に、さいたま市の民放のラジオがあるというので、そういうところに出てみようかなと思いましたが、年齢を言ったら、困りますと言われてしまいました。さいたまというか浦和というか、そういうところは高齢者には優しくないまちだなと感じています。

◆市長

>>発言21

市民意識調査は、無作為抽出をしまして、133万人いるうちの5,000人なので、なかなか当たらないケースもあると思います。ただ、5,000というサンプル数は、決して統計上は少ない数字ではありません。ですので、調査についてはバイアスがかかっているものではないと思います。これは間違いないデータですので、これについては御理解いただければありがたいと思います。

さいたま市もこれから、高齢化も進んでいきますので、高齢者の皆さんにも優しく、また、性別や様々な国籍も含めて多様性を認め合い、お互いに理解のある社会を築いていきたいと思っていますので、今いただいた御意見なども含めて、私たちとしてもそういった地域社会ができるように取り組んでいきたいと思っています。

また、これからも皆さんの意見をいろいろとお寄せいただければと思います。パブリック・コメントはまだやっていますので、また御意見をお寄せいただければありがたいと思います。

どうも今日はありがとうございました。

■ 補足説明

「市のシンボルとなるような新庁舎」について

令和3年12月に策定した「新庁舎整備等基本構想」におきまして、新庁舎の機能理念の一つに「本市のシンボルとなる庁舎」を掲げ、さいたま市らしさを内外に発信するとともに、市民が集まり、市民自らが何度も訪れたいくなるような思い入れを生み、まちへの誇りを感じるシビックプライドの醸成にも資する本市のシンボルとなる庁舎とすることとしております。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、具体化に向けて検討を進めてまいります。

(都市戦略本部 都市経営戦略部)

「幸福度ランキング」について

ランキングの出典と時点については、以下のとおりです。

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」(東洋経済新報社)

(市長公室 シティセールス推進課)

「新庁舎整備等における浦和区役所の方向性」について

区役所は最も身近な市民サービスの拠点であるため重要な役割を担っており、その移転については、市民サービスに大きな影響を及ぼすことから、これらの機能については、現庁舎地に確保することを前提に、新たな利活用を図っていくこととしています。

(都市戦略本部 都市経営戦略部)

「浦和区に転入された方の約3割が教育面を理由にしていること」について

令和2年度さいたま市民意識調査で、引っ越してきた人に、今の地域を選んだ理由を聞いたところ、「子どもの教育環境がよいから」と回答した人は、浦和区居住者で30.2%となりました。

(市長公室 広聴課)